



アグレ都市デザイングループ  
証券コード：3467

2024年3月期 第3四半期  
決算補足説明資料

2024年2月5日



## 決算補足説明資料 目次

### 第1部

#### 2024年3月期 第3四半期実績

グランドサマリー	4
損益計算書サマリー(連結)	5
セグメント別の業績	6
損益計算書	8
貸借対照表	9

### 第2部

#### アグレ都市デザイングループについて

事業ポートフォリオ	12
シナジー効果	13
今後の事業戦略	15
ハウスバード株式会社	
事業理念・代表経歴・会社概要	16
事業概要	18
宿泊事業事例	19
アグレ都市デザイン株式会社	
戸建販売事業	21
アセットソリューション事業	23

### 第3部

#### 参考資料

貸借対照表(連結)	26
太陽光発電システム+蓄電池	27
メールマーケティング	28
ソーシャルメディアマーケティング	29
日本国内宿泊業動向	30
インバウンドの状況	31
サステナビリティの推進	33
配当政策	34
会社概要	35



## 第 1 部

2024年 3 月期 第 3 四半期実績

## ■ 戸建販売事業

- 価格改定・大幅値引きの実施による棚卸資産の早期入れ替えを図ったことにより、3Q累計の売上は前年並みの水準になるものの、粗利益が大きく減少
- PJの工程が遅延したことにより、引渡しが4Qに集中する下期偏重になってしまった
- 土地価格と建築原価は高止まりが続いているが、お客様の動きはコロナ特需の反動減から持ち直しの傾向がみられる
- 自社一貫体制の強みである部門連携だけでなく、拠点連携に向け組織体制・システムを再構築中
- 足元3Q会計期間（2023年10月～12月）は2Q累計と比較して粗利ベースで1.8ptの改善傾向

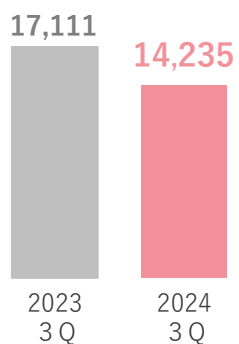
## ■ アセットソリューション事業

- 2Q引渡予定の大型物件（21億）の工程が遅延したことにより、引渡が4Qにずれ込む結果となり大幅な減収・減益
- 12月末時点で未契約物件2棟は1月に申込完売、今期計上予定、需要は引き続き堅調
- ハウスバードが持つネットワークを活かし、上海にて投資家向けセミナーを3月に開催
- 東アジアにおける中華系投資家マーケットへの販路拡大も視野に入れる

## ■ 宿泊事業

- 宿泊施設コンサルティングの『ハウスバード社』をM&Aでグループ化（100%）

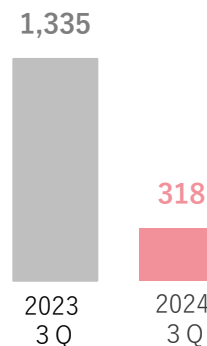
# 決算概要 | 2024年3月期第3四半期 損益計算書サマリー (連結)



## 売上高

**14,235** 百万円

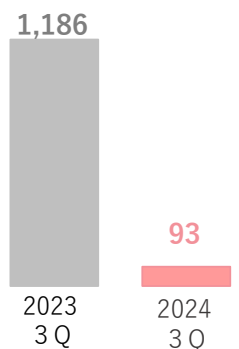
前年同期比  $\Delta$  **2,875** 百万円  
 $\Delta$  **16.8** %



## 営業利益

**318** 百万円

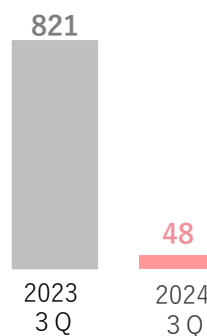
前年同期比  $\Delta$  **1,017** 百万円  
 $\Delta$  **76.2** %



## 経常利益

**93** 百万円

前年同期比  $\Delta$  **1,093** 百万円  
 $\Delta$  **92.2** %



## 親会社に帰属する 四半期純利益

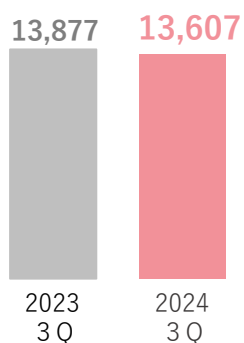
**48** 百万円

前年同期比  $\Delta$  **772** 百万円  
 $\Delta$  **94.1** %

※2023年11月21日付でハウスバード株式会社の全株式を取得、みなし取得日を2023年10月31日としております。当第3四半期においては貸借対照表のみ連結しているため同社の業績は含まれておりません。

# 決算概要 | 2024年3月期第3四半期

## セグメント別の業績 戸建販売事業

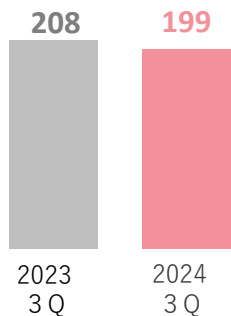


売上高

**13,607** 百万円

前年同期比  $\Delta$  **270** 百万円  
 $\Delta$  **1.9** %

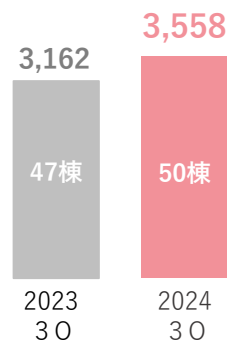
- 分譲棟数・売上高は前年同期比で若干の減少、原価高騰、価格改定・値引きの実施等により、利益は大幅な減少
- 拠点間の仕入れ・設計・施工・販売の連携が不十分であった点を修正すべく、組織体制を再構築し、魅力ある商品企画と工程管理を徹底し、販売力をブラッシュアップ



分譲棟数

**199** 棟

前年同期比  $\Delta$  **9** 棟



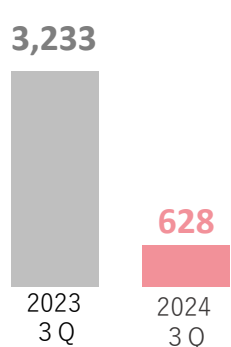
受注残高

**50** 棟 **3,558** 百万円

受注棟数 + **3** 棟  
受注残高 + **396** 百万円

# 決算概要 | 2024年3月期第3四半期

## セグメント別の業績 アセットソリューション事業

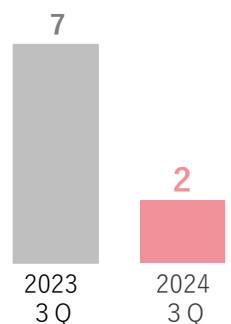


### 売上高

**628** 百万円

前年同期比 △ **2,604** 百万円  
△ **80.6** %

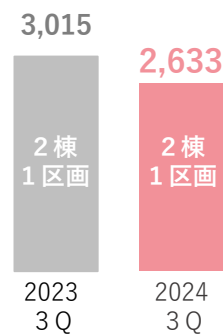
- 2023年9月に引渡し予定の収益マンション1棟が工事の進捗の遅延により4Q以降にずれ込んだため、売上・利益とも減少（3末に引渡し予定）
- 4Q竣工予定の販売物件2棟（新宿細工町、新宿富久町）は申込・契約済で3月末に引渡し予定
- 来期以降の仕入準備高は約80億で推移、都内の希少用地を中心に仕入準備高をさらに積み上げ予定



### 引渡件数

**2** 件 うち、収益マンション0棟

前年同期比 △ **5** 棟  
うち、収益マンション△3棟  
マンション用地△2棟



### 受注残高

**3** 件 **2,633** 百万円

受注棟数 ± **0** 棟  
受注残高 △ **382** 百万円

# 決算概要 | 2024年3月期第3四半期

## 損益計算書 (単体) 販管費及び一般管理費



単位：百万円

	2023/3期 3Q (単体)		2024/3期 3Q (単体)		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	増減比
販売費及び一般管理費	1,541	100.0%	<b>1,573</b>	100.0%	+32	+2.1%
(内訳) 広告宣伝費	97	6.3%	<b>145</b>	9.3%	+47	+48.5%
販売手数料	204	13.3%	<b>117</b>	7.4%	△86	△42.5%
人件費	623	40.4%	<b>694</b>	44.1%	+70	+11.4%
租税公課	275	17.9%	<b>283</b>	18.0%	+7	+2.8%
その他	340	22.1%	<b>333</b>	21.2%	△6	△2.0%

- 売上高販管費比率は2022/12期の9.0%から**11.1%**に増加
- SNSや動画の積極的な活用、会員サービスをLINE友だちにも拡大
- 販売物件数は前期と同水準も、販売期間が伸び広告宣伝費が増加

- 販売手数料はマンションの引渡しが無かったことから減少
- 人件費の増加は、人員増によるもの  
(2022/12末 126名 ⇒ 2023/12末 131名 [+5名])



# 決算概要 | 2024年3月期第3四半期

## 貸借対照表 (単体) 資産



単位：百万円

	2023/3期 (単体)		2024/3期 3Q (単体)		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	増減比
流動資産	22,772	98.6%	<b>26,572</b>	96.9%	+3,800	+16.7%
現金及び預金	5,970	25.8%	<b>4,218</b>	15.4%	△1,752	△29.3%
販売用不動産	1,398	6.1%	<b>4,436</b>	16.2%	+3,037	+217.2%
仕掛販売用不動産 (未成工事支出金含む)	15,066	65.2%	<b>17,094</b>	62.3%	+2,027	+13.5%
その他	336	1.5%	<b>823</b>	3.0%	+487	+144.9%
固定資産	327	1.4%	<b>853</b>	3.1%	+526	+160.6%
資産合計	23,099	100.0%	<b>27,426</b>	100.0%	+4,327	+18.7%

● 販売用不動産（完成物件）は前期末の26棟から47棟に増加

（内訳：戸建46棟・AS収益マンション1棟）

⇒47棟のうち38棟は契約済

● 固定資産の増加：ハウスボードの株式の取得によるもの

● 今期(2025/3期)以降の

売上換算後  
完売ベース

**仕入準備高\***は約305億円 で推移

前年同期は約300億円

\*仕入準備高…事業用地の仕入高を現時点で 想定している販売価格(売上高)に換算した金額

決算概要 | 2024年3月期第2四半期  
貸借対照表 (単体) 負債・純資産



単位：百万円

	2023/3期 (単体)		2024/3期 3Q (単体)		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	増減比
負債	17,530	75.9%	<b>22,223</b>	81.0%	+4,692	+26.8%
流動負債	13,559	58.7%	<b>18,385</b>	67.0%	+4,825	+35.6%
固定負債	3,970	17.2%	<b>3,838</b>	14.0%	△132	△3.3%
純資産	5,569	24.1%	<b>5,203</b>	19.0%	△365	△6.6%
株主資本	5,569	24.1%	<b>5,203</b>	19.0%	△365	△6.6%
負債純資産合計	23,099	100.0%	<b>27,426</b>	100.0%	+4,327	+18.7%

- 負債の増加は、順調な用地仕入れに伴う  
有利子負債の増加によるもの

2023/3末 15,209百万円⇒2023/12末 19,926百万円+4,716百万円

- 純資産の減少は、主に前期基準の配当金支払 △448百万円  
及び四半期純利益82百万円によるもの

- 自己資本比率は前期末の24.1%から19.0%に低下



## 第2部

# アグレ都市デザイングループについて

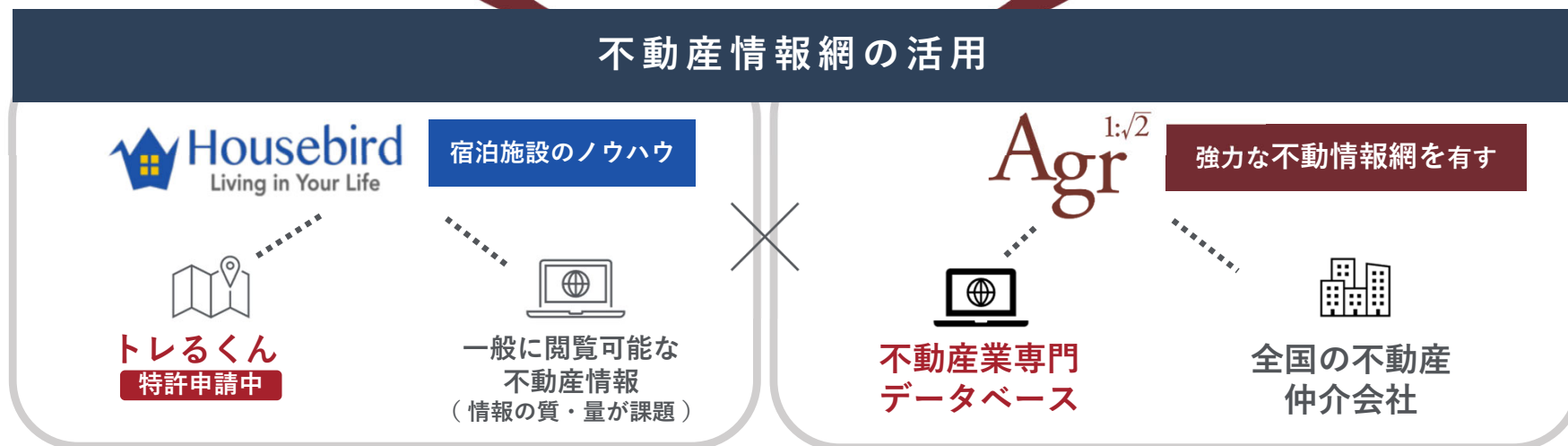
[アグレ都市デザイン×ハウスバード] 2023年11月21日 戦略的資本提携 実施



アグレ都市デザイングループは今後3つの事業ポートフォリオで展開

アグレ都市デザイングループについて  
シナジー効果 コンサル案件と自社物件の増加

不動産情報が圧倒的に増加→コンサル案件の増加と自社物件の取得が可能に





旅館業許可取得ノウハウ



デザイン設計・施工管理技術



取り扱い案件数増加に伴うマンパワー投入



長年の戸建分譲事業で培われた、仕入・設計・営業・  
アフターサポート経験を持つ人財

施工調整→自社施工管理にグレードアップ



長年の戸建分譲事業で培われた施工品質

現状、戸建需要はコロナ特需後の反動減から持ち直し傾向にあり、来期以降の仕入れ準備高は積み上がっている状態  
全社のDX化を推進し自社一貫体制の効率性を強化するとともに、以下の点を重視。

## 1 エリアの厳選

戸建：環状8号線の内側と人気住宅地への特化、得意エリアの深耕

AS：都心人気エリアへの注力＋宿泊事業との連携

宿泊：アセットソリューション事業との連携＋全国の旅館開設候補地

## 2 商品ラインナップの拡充

- 事業範囲の拡大により不動産情報網が拡大。今まで案件化できていなかった不動産情報も活かせる
- 戸建用地のアセットソリューション事業への転用など、JVも含め、利益の最大化を狙った開発施策を仕入状況に応じて柔軟に行っていく



### 1日から貸せる家

自分にとっての別荘が、誰かにとっての「宿」になる  
これからの新しい住まいの在り方

人間が本来与えられている知性・感性・優しさ、  
そして自由な心を取り戻せる場所を  
日本中にあふれさせる



代表取締役 浅見 清夏

青山学院大学国際政治経済学部卒

2008年アクセンチュア株式会社にて戦略コンサルティング業務に従事

その後上海で教育事業を創業後、YCPホールディングスへ売却

産業革新機構(INCJ)でVC投資を担当後、ハウスバードを創業

2017年より現職



---

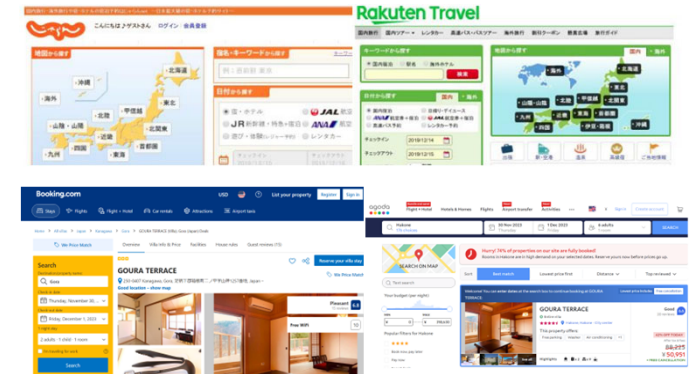
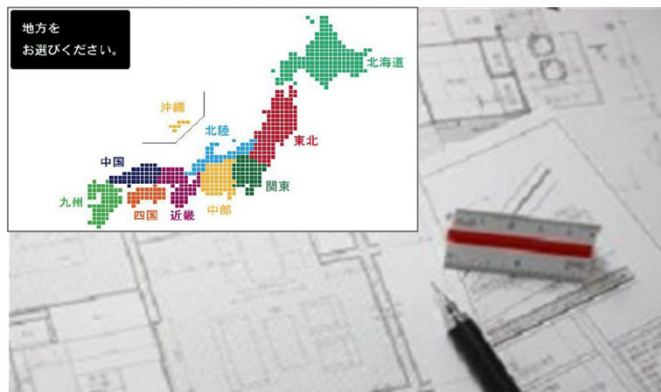
企業名	ハウスバード株式会社
代表者	浅見 清夏
本社所在地	東京都江東区常盤 2 丁目14番14号
設立	2016年9月
資本金	3,000千円
従業員数	28名( 業務委託を含む )
事業内容	旅館／ホテルの開業支援コンサルティング、宿泊施設の運営管理
ホームページ	<a href="https://housebirdjapans.com/">https://housebirdjapans.com/</a>

---

# アグレ都市デザイングループについて ーハウスバード株式会社 事業概要



旅館としてマッチする全国の案件に対し、物件選定から運営管理までを【一気通貫】でサービス提供



## 物件選定

- ◆AI活用による、予算/エリア/ニーズにマッチした物件情報の提供
- ◆旅館業許可取得に関する自社専門家による調査
- ◆購入前有料調査

## プロデュース

- ◆デザイン/設計/リノベーション実施
- ◆旅館業への用途変更
- ◆施工調整、行政との協議・許可取得

## 運営管理

- ◆国内客/訪日客、各属性に合う予約サイトでの集客
- ◆予約管理の支援・代行
- ◆清掃管理の支援代行

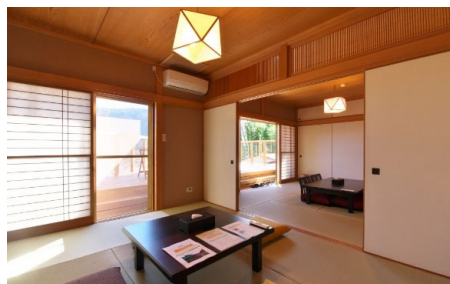
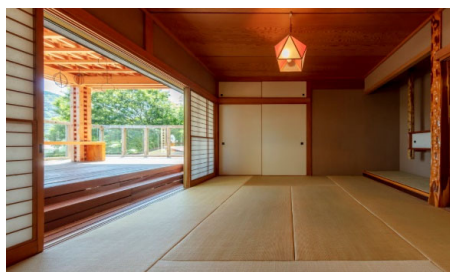
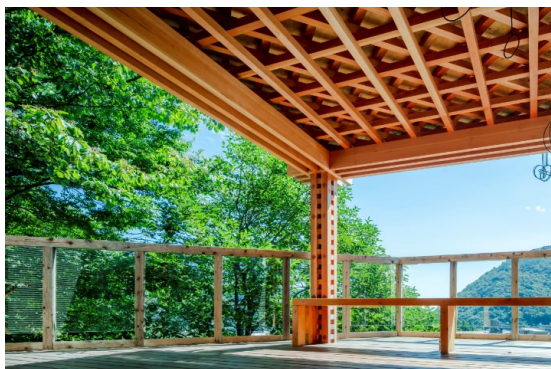
# アグレ都市デザイングループについて ーハウスバード株式会社 宿泊事業事例



実績件数：計56件（2023年時点）

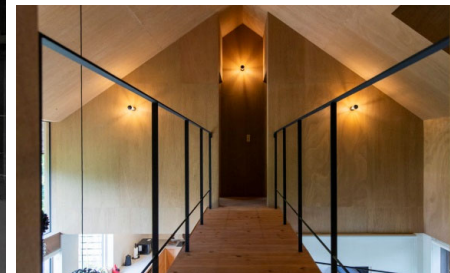
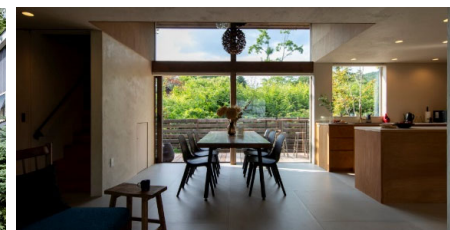
強羅テラス | 神奈川県足柄下郡箱根町

室数3 定員9名



HUTTE GARTENLAND - KAIZUKA | 長野県軽井沢町

室数5 定員10名



# アグレ都市デザイングループについて ーハウスバード株式会社 宿泊事業事例



実績件数：計56件 （2023年時点）

常閑園 | 埼玉県本庄市

室数4 定員14名



バードプレイスlog東京 | 東京都江東区

室数3 定員7名



アグレ都市デザイングループについて —アグレ都市デザイン株式会社  
戸建販売事業 アグレシオ物件ラインナップ



【新宿支店】 都心部、城北エリア

【吉祥寺支店】 多摩東部、世田谷・杉並・練馬

【東京支店】 城東エリア、千葉県北西部

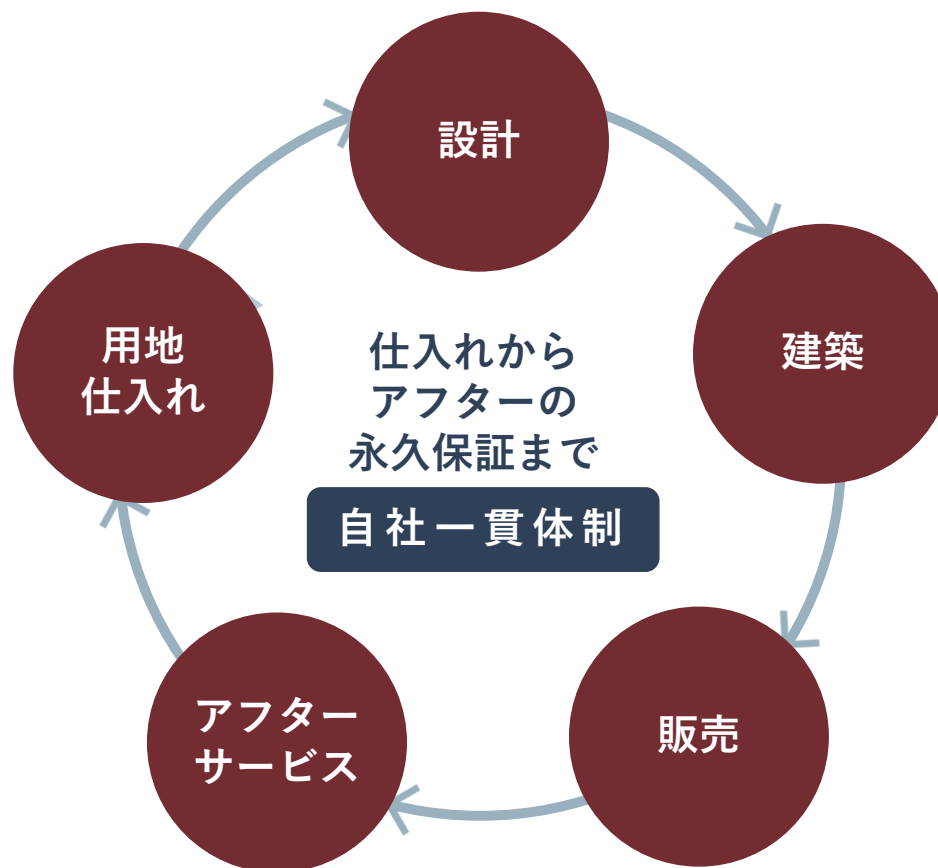
【自由が丘支店】 城南エリア、神奈川東部

東京・神奈川の都心通勤圏内を中心に  
1棟から最大44棟まで柔軟に展開



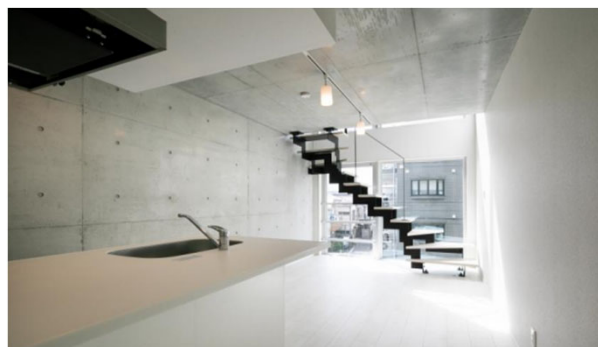
「自社一貫体制」がアグレの競争優位

各ステップで得た顧客のニーズをフィードバック  
商品企画に活かし競争優位性を高める循環

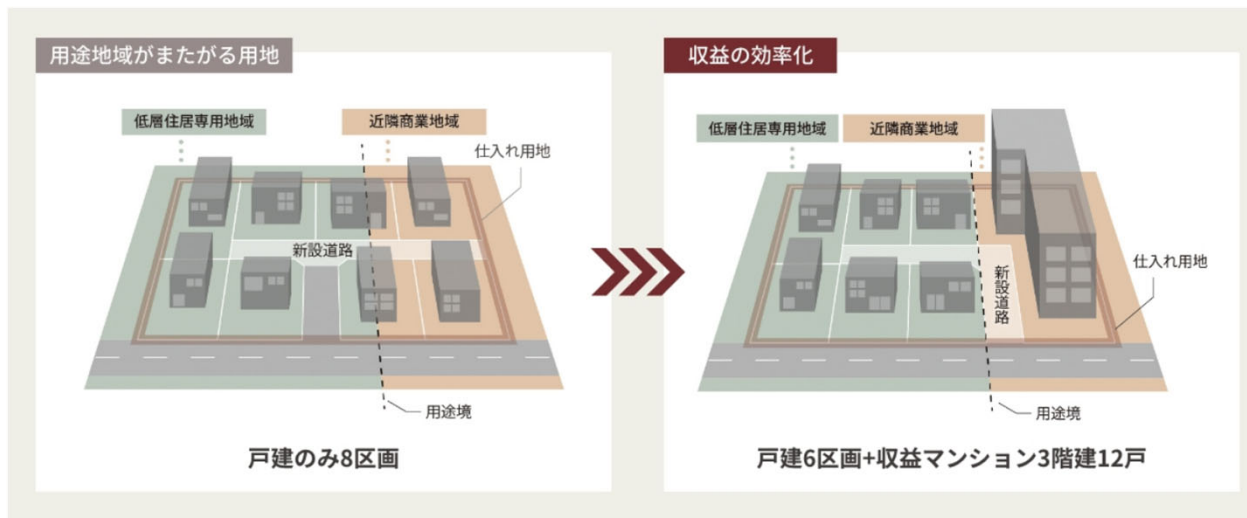




- 希少エリアをメインターゲットとして展開
- 2022年3月期より  
収益マンションの建設・販売を本格的に開始
- 収益マンションは竣工と同時に完売  
(これまでの実績：マンション7棟、マンション用地18区画)
- 国内外への販路拡大を企図し中国にてセミナー開催



山手エリアを中心に仕入れ強化



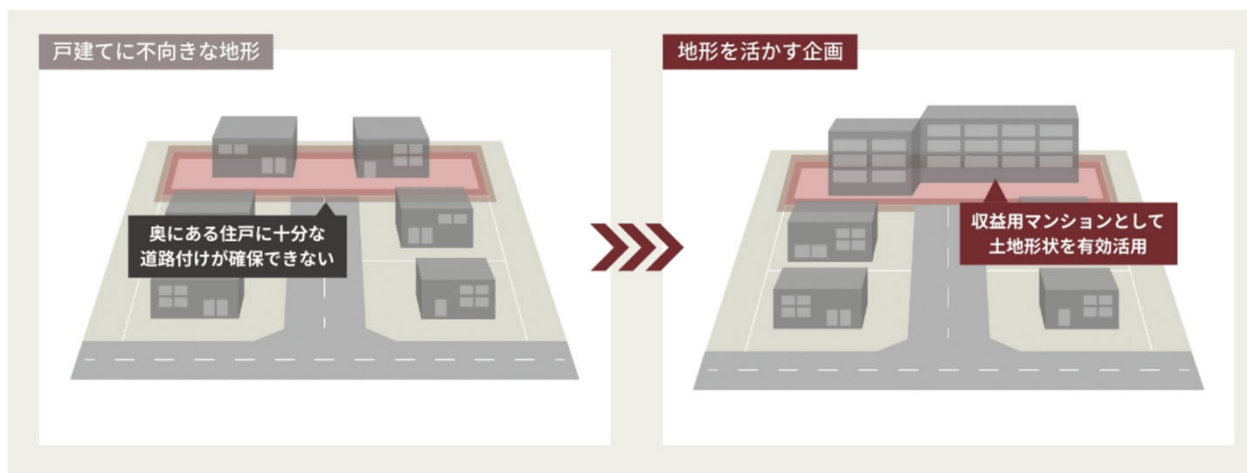
複数の用途地域にまたがる建築物を整理



各用途地域に合う建築物に分割



収益の効率化を実現



戸建建築には不向きな土地形状



収益用マンションとして  
 地形を活かした最適な活用を実施



Agr<sup>1:√2</sup>

第 3 部  
参考資料

参考資料 | 2024年3月期第3四半期  
貸借対照表（連結）

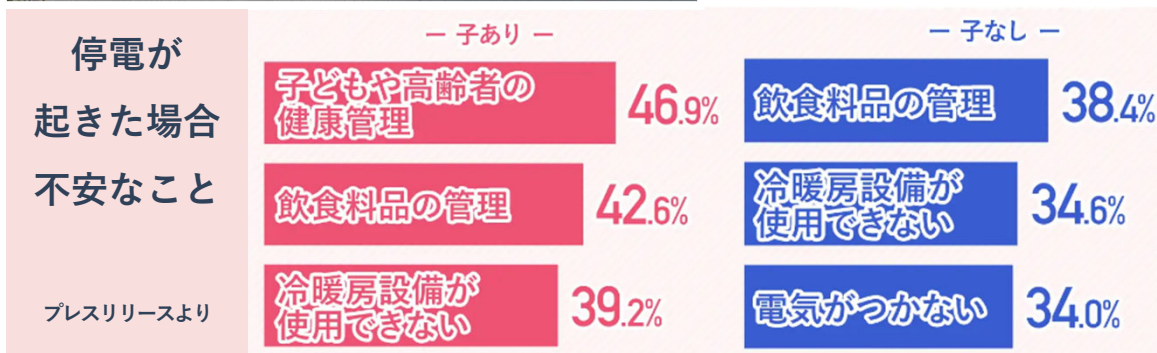


単位：百万円

資産	負債・純資産	
	実績	構成比
流動資産	26,651	97.1%
現金及び預金	4,280	15.6%
販売用不動産	4,436	16.2%
仕掛販売用不動産 (未成工事支出金含む)	17,094	62.3%
その他	840	3.0%
固定資産	798	2.9%
資産合計	27,450	100.0%
負債	22,281	81.2%
流動負債	18,440	67.2%
固定負債	3,840	14.0%
純資産	5,169	18.8%
株主資本	5,169	18.8%
負債純資産合計	27,450	100.0%

- 2023年11月21日付でハウスバード株式会社の全株式を取得
- 当第3四半期連結会計期間より連結決算へ移行、当第3四半期連結会計期間においては貸借対象表のみの連結
- 2023年10月末時点における宿泊施設の開業支援コンサルティングの受注残高は12件・117百万円
- ハウスバード株式会社の連結業績への寄与は第4四半期以降

Solene(ソレーネ)シリーズ：太陽光パネルと蓄電池を装備した次世代型住戸。今後2階建て住戸には標準装備として展開予定。



- 太陽光発電定額利用サービス「エネカリ」を採用  
初期費用0円 / リース契約期間中は24時間サポート・保証対応
- 電力の自家消費率を最大化し、毎月の光熱費を削減
- 蓄電池は災害時の備えとして強い味方

「戸建て住宅の防災」に関する調査 2023年9月8日(金)~14日(木)リンクアンドパートナーズが提供する調査PR「RRP」によるインターネット調査

Club Agr (クラブアグレ) メール会員への新規未公開情報・会員限定情報配信に加え、同様の内容をLINE会員にも配信を開始



@agr-urabn

アグレ都市デザイン公式LINEアカウント

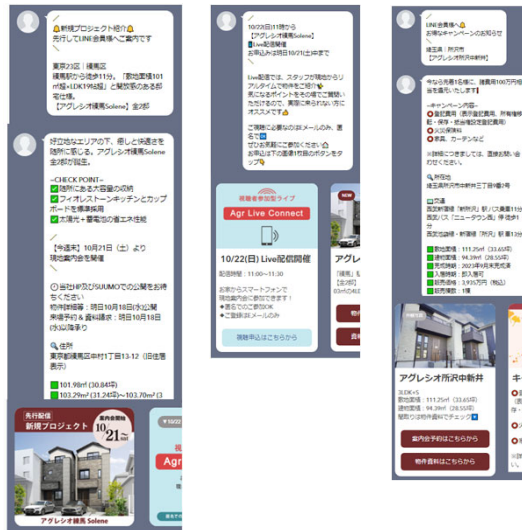
2023年10月から、Eメール配信に加えて  
LINEによる会員様向け情報の配信も開始

Eメールに比べ、  
メッセージ開封率・クリック率が約3倍

人員を強化のうえ  
メール会員やSUUMOからお問い合わせの  
お客様のほかオフライン接客においても  
友だち追加の開拓を積極的に展開中

有効会員数は  
約**1,500人超**

12人  
2012年 2023年



有効会員数は  
約**800人超**

## Agr Live Connect

2023年6月start



お客様のステップイメージ



- 実際に現地に足を運ばなくとも案内会に参加可能
- 実際の建物内を自社設計士が“ライブ”で建物内をご案内
- リアルタイムで視聴者から質問を受付

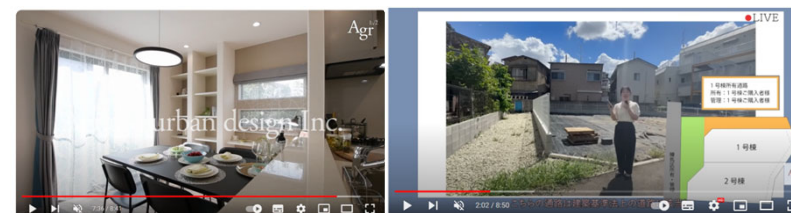
匿名参加OK

Eメールのみ登録

アーカイブ配信

案内会の参加ハードルを下げタッチポイントを拡大

## YouTube



- 実際の現場・建物内を自社設計士やスタッフがご案内
- ナレーションと映像による解説で物件を訴求

## Instagram



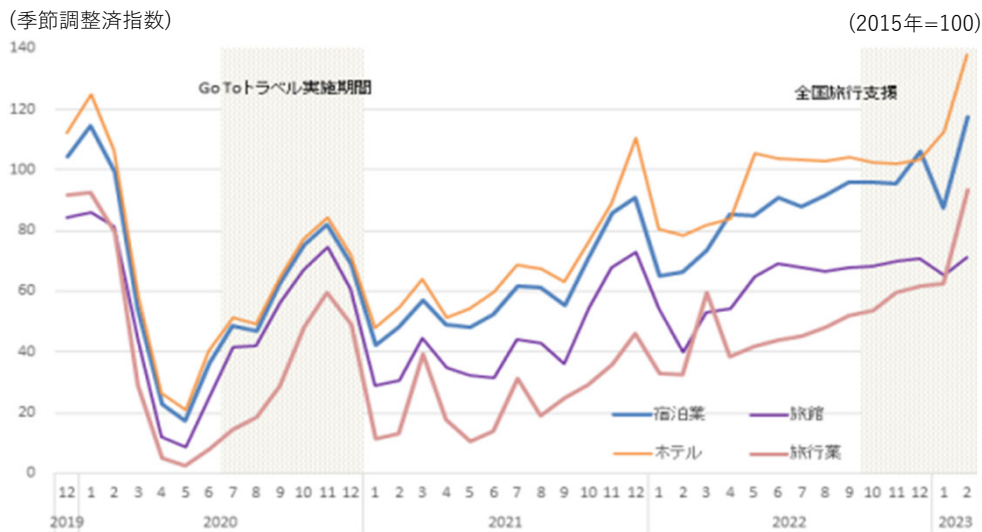
- 物件の進捗状況などを細やかに配信

# 参考資料

## 日本国内宿泊業動向

宿泊市場はコロナ前を上回る水準に回復し上昇傾向。2030年予測では東京のホテルが不足。

### 宿泊業・旅行業の推移



出典：経済産業省 第3次産業活動指数

宿泊業界：2023年には2019年12月を13%上回る水準

旅行業：2022年10月開始“全国旅行支援”の効果などから2019年12月を2%上回る水準

### 2030年 ホテル・旅館 稼働率予測

#### ホテル

(2030年の稼働率による降順)  
(単位:%)

	ホテル		
	2017	2020	2030
都市圏	81.2	92.8	96.0
地方	68.2	71.2	71.7
全国	73.2	79.5	81.1
大阪府	86.5	104.1	111.1
東京都	83.9	99.6	105.5
京都府	81.7	95.5	100.2
沖縄県	76.9	85.8	93.4
福岡県	79.0	86.7	92.6
千葉県	78.0	85.9	86.9
北海道	71.7	79.5	85.8
愛知県	78.2	84.8	84.7
神奈川県	79.2	83.7	82.1
奈良県	69.1	75.0	79.2
島根県	74.2	73.1	68.4
山形県	64.8	64.0	60.0
宮崎県	60.0	60.6	58.4
長野県	56.7	58.3	57.7
福島県	60.1	59.3	55.6
新潟県	56.9	56.5	53.5

(注) 赤色網掛けは85%以上。  
全道府県の稼働率は本稿末尾の府県表に掲載。  
(資料) 観光庁「宿泊旅行統計調査」、株式会社オータパブリケーションズ「週刊ホテルレストラン(2018年6月1日号、2018年12月7日号)」等を基に作成

#### 旅館

(2030年の稼働率による降順)  
(単位:%)

	旅館		
	2017	2020	2030
都市圏	39.5	42.1	41.6
地方	37.2	38.2	37.7
全国	37.5	38.8	38.3
大阪府	59.6	74.4	81.1
東京都	57.2	67.2	70.7
大分県	47.6	53.6	58.8
北海道	48.0	53.5	58.2
沖縄県	43.6	48.8	53.3
山形県	36.5	36.4	34.6
和歌山県	31.9	33.7	34.5
福岡県	29.9	29.7	28.2
千葉県	29.8	29.2	27.1
福井県	27.8	27.4	25.6
長野県	26.1	26.4	25.6
徳島県	24.4	25.2	25.1
新潟県	26.0	26.0	24.7
茨城県	25.6	25.2	23.5

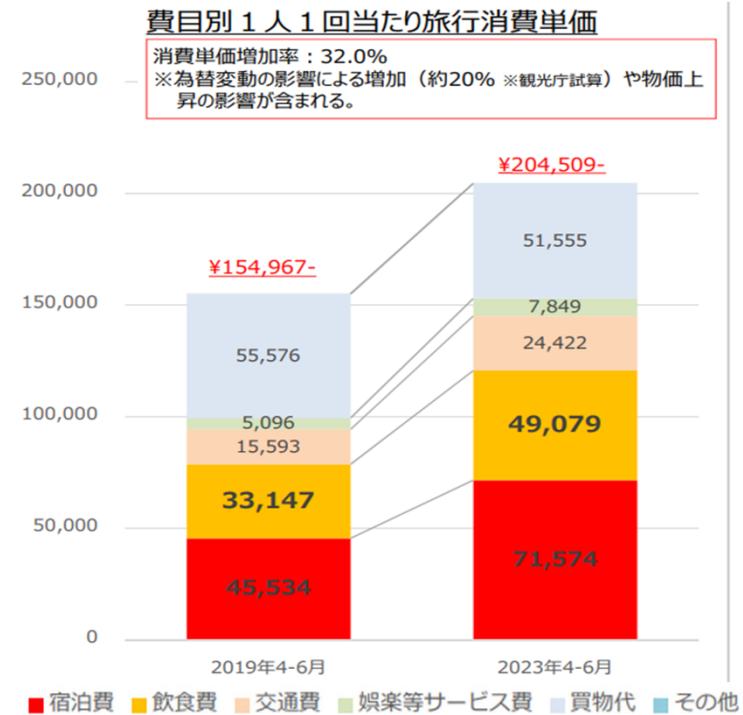
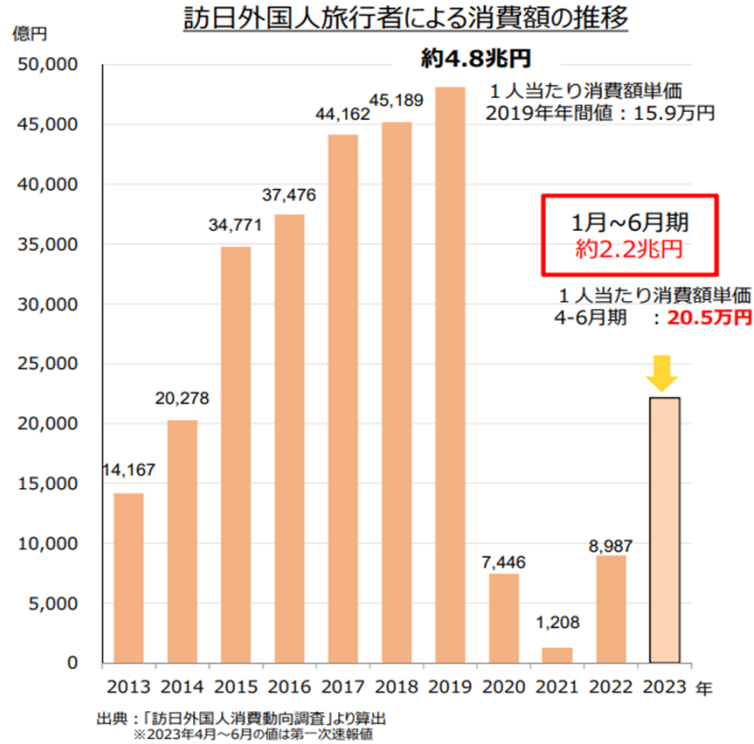
(注) 全道府県の稼働率は本稿末尾の府県表に掲載。  
(資料) 観光庁「宿泊旅行統計調査」等を基に作成

ホテル：東京が105%超(供給<需要)、千葉・神奈川も80%超で上位

★東京の宿泊施設において、多人数宿泊可能な部屋は供給不足  
(6人以上泊まれる宿泊部屋<6人以上訪日客)

# 参考資料

## インバウンドの状況（消費額）



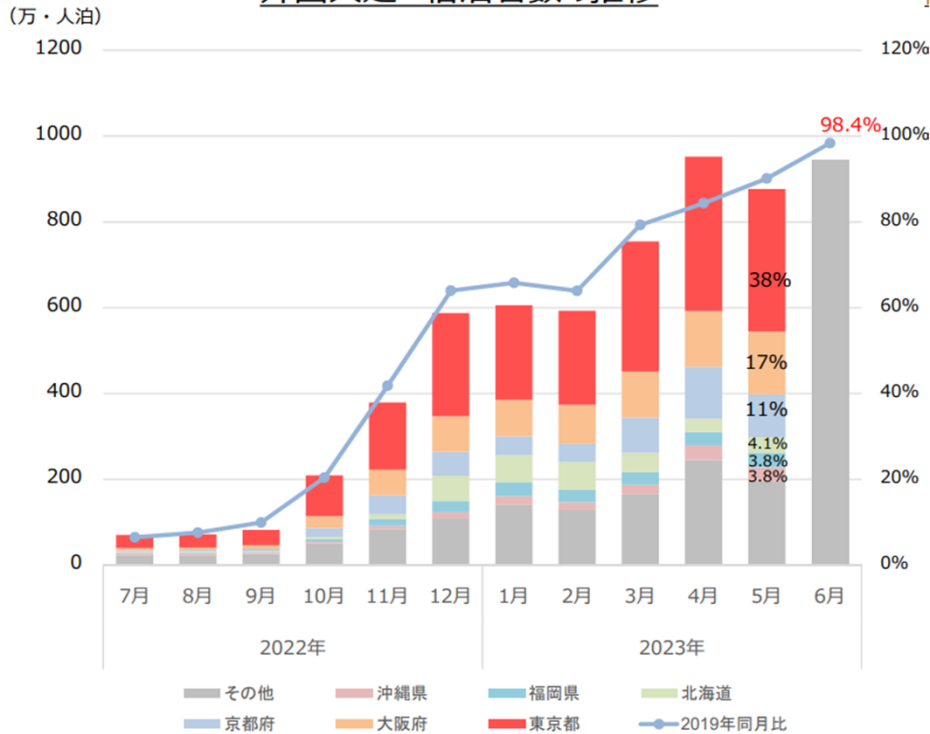
- 2023年4-6月期の訪日外国人消費額は、2019年同期の約95%まで回復
- 費目別割合をみると、買物代が大きく低下し、宿泊費、飲食費等が上昇
- 訪日外国人（一般客）一人当たりの旅行支出は、2019年水準を超える20万5千円となり2019年同期比で32%増（2019年4-6月期は15万5千円） ※平均泊数が伸びたことや円安・物価上昇の影響等が考えられる

2023年8月4日国土交通省観光庁「新時代のインバウンド拡大アクションプラン推進会合」資料より抜粋

# 参考資料

## インバウンドの状況（延べ宿泊者数）

外国人延べ宿泊者数の推移



都道府県別外国人延べ宿泊者数（2023年5月）

三大都市圏 トップ5			地方部 トップ5		
東京都	38%	331.8 万人泊	北海道	4.1%	36.4 万人泊
大阪府	17%	147.0 万人泊	福岡県	3.8%	33.6 万人泊
京都府	11%	99.0 万人泊	沖縄県	3.8%	33.4 万人泊
千葉県	2.7%	23.7 万人泊	広島県	1.3%	11.1 万人泊
神奈川県	2.3%	20.3 万人泊	長野県	1.2%	10.8 万人泊

- 2023年6月の外国人延べ宿泊者数は943万人泊で、**ほぼコロナ前水準まで回復**（2019年同月比98.4%）
- 他方、観光需要の回復状況は**宿泊先地域によって偏在傾向**が見られ、**三大都市圏のみで7割**を超える

2023年8月4日国土交通省観光庁「新時代のインバウンド拡大アクションプラン推進会合」資料より抜粋



ESG	取り組み事例	関連するSDGs
<p><b>Environment</b> 環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社設計・自社施工の一貫体制によるメンテナンスフリー住宅の推進 + 長期延長保証(最大20年)</li> <li>・ 全棟で「ZEH相当の断熱性能 + 省エネ水準」ヒトに、環境に配慮した住宅を供給</li> <li>・ 電気自動車 (EV・PHV) の充電用屋外コンセントを全棟に設置</li> </ul>	
<p><b>Social</b> 社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心して長く住める、確かな家づくり (優れた耐震性能・構造計算の全棟実施)</li> <li>・ 年齢や性別、国籍などによって偏りのない働き方への取り組み</li> <li>・ 評価制度・評価手法の見直しによる働きがい</li> <li>・ 中古戸建/空き家を宿泊施設として活用</li> </ul>	
<p><b>Governance</b> ガバナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンプライアンス委員会の定期開催</li> <li>・ 外部直通の内部通報 (ホットライン) 設置</li> <li>・ サステナビリティ委員会設置</li> </ul>	

安定配当の継続を基本方針として、当期純利益の30%（配当性向30%）が配当額の目途

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
1株当たり当期純利益 (円)	246.29	224.66	254.59
1株当たり配当金 (円)	75	78	78
配当性向 (%)	30.5	34.7	30.6

## 株主優待

目的：当社株式の魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくこと

対象：毎年3月31日時点の当社株主名簿に記載もしくは記録された1単元以上保有の株主様

基準日時点での保有株数	株主優待特典
100株（1単元）以上保有の株主様	Quoカード（1,000円）

会社名	アグレ都市デザイン株式会社（Agratio urban design Inc.）	
設立	2009年4月1日	
資本金	390百万円	
所在地	東京都新宿区西新宿二丁目6番1号 新宿住友ビル31階	
役員構成	代表取締役 大林 竜一 取締役 柿原 宏之 取締役 佐々木 榮茂（社外） 常勤監査役 吉原 三千雄（社外） 監査役 中野 明安（社外） 監査役 戸澤 摂子（社外）	専務執行役員 唐川 範久 専務執行役員 伊藤 一也 常務執行役員 平井 浩之 常務執行役員 池端 隆明 執行役員 阿多 賢一 執行役員 野村 公二
役職員数	132名	
発行済株式総数	5,754,000株	
株主総数	11,991名（2023年9月30日現在）	

2024年2月5日現在

## 記載情報について

---

- ・提供情報のうち、将来の業績等に関する見通しは歴史的事実ではありません。  
資料作成時における一定の前提に基づいて作られていますので、実際の業績は多様な不確定要素により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることご承知おきください。
- ・本資料の目的は、当社への理解を深めていただくための一般的なIR情報を提供することであり、投資勧誘を目的としたものではありません。  
投資に関する決定は、情報利用者ご自身の判断に基づいて実施願います。
- ・掲載情報については、細心の注意を払っておりますが、内容についていかなる保証を行うものではなく、本資料の情報を使用したことによって生じたあらゆる障害や損害についても当社は一切責任を負うものではありません。